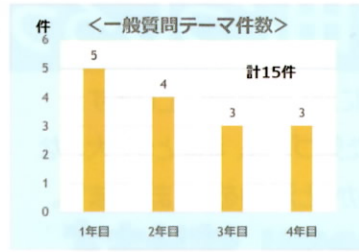


1) ③4年間の一般質問のテーマと主な内容

一般質問の主なテーマと内容（1期目4年間）

2022年12月～2026年9月
までに行った一般質問は、
「環境」「健康・福祉」「行政
DX」「町有地活用」という4
本柱で4年間継続的な課題
も含め15件、取り上げました。



1. 2022年12月は初めての質問として地域の有害鳥獣（イノシシ）対策について、今後の対応について特に住宅地への生活環境被害について取り上げ、捕獲方法及び対策補助金の改善を求め、現在も地域中心で活動を継続している。
2. 2022年と2023年には「地球温暖化対策」、2023年12月には「ICT活用による行政サービスDX」を取り上げた。その際、行政手続きのオンライン化、ワンストップサービス、

LINEによる情報発信、子育て・防災などの情報提供、スマートフォンで行政手続きを行える「持ち運べる役所」などを取り上げました。

3. 2025年6月には同じテーマの第2弾として、3年間の進捗を検証。さらに、AI・RPAによる業務効率化、行政手続きのオンライン化、マイナンバーカードの活用、災害時のオンライン申請、デジタルデバイス対策、アナログ規制の見直しまで、踏み込み改善を求めました。

これは「一度質問して終わり」ではなく、2022年→2026年と継続して行政DXを追って改善を求めました。

4. 2026年3月は若手職員による横領事案の原因究明と再発防止の進捗を求めた。また、9月には財政確保対策として、ふるさと納税の推進について、大胆な事業への見直しを提案した。

2) 9月定例会 一般質問（2テーマ）の概要と答弁【抜粋】

テーマ①：ふるさと納税推進の取り組み状況について
町回答：令和9年4月からの新たな運用開始を目指す。

Q 現状と寄附額受入・流出のバランスについて

A 令和7年度の寄附受入額は、361万9千円となり前年度比で18.2%の増、一方で個人町民税として収入できなくなった、いわゆる**流出額は、1億954万6千円**となり、前年度比で13.5%の増となり、流出額の75%は、国の地方財政措置として補填されるため、約8,215万円が補填されるもの、ふるさと納税制度における実質的な収支は、令和7年度で**約2,526万円の赤字**となった。

Q プロポーザルのPR戦略やスケジュールは

A ふるさと納税中間事業者のプロポーザルは、ノウハウや実効性の高いアイデアの提案を受け、**令和9年4月1日からの新たな運用開始を目指し進める。**



テーマ②：健康づくりサポーターの活動状況は
町回答：来年度は講座回数や内容を従来実績へ近づける。

Q 現状の活動体制と活動状況について

A 新規メンバー2名を加えた計18名で、地域の通いの場で出前講座を実施している。

また、統合前のそれぞれ異なる出前講座の内容についてお互いに学習し、新たな内容に発展させ、研修の受講により新たな知識の習得に努めている。

Q 出前講座など従来の活動内容に戻せるのはいつ頃か

A 出前講座の回数は、**来年度は従来の実績に近づけたい。**
また、出前講座のメニューも双方の良いところ取りで統合前より充実したと考えている。



【議会活動】 ●二宮町議会議員（2022年 1期目当選）

- 教育福祉常任委員会副委員長：教育・福祉関係の実践現場視察。
- 議会だより編集副委員長：節目の200号発行。
- 災害発生時における二宮町議会及び議員の心得及び行動要領（マニュアル）の改定。（W/G長）
- 町制施行90th議会展示、準備チームにて企画・実施。（チーム員：小林リーダ・浜井・古谷・岡田）

【プロフィール】

1953年：福岡県北九州市生まれ、博多育ち。 水瓶座・AB。
1972年：福岡市立博多工業高校卒。同：日産車体（株）入社。
2018年：日産車体（株）定年嘱託退職。
趣味・・・和太鼓（創作太鼓）。 座右の銘・・・質実剛健。
資格・・・狩猟免許（わな猟）、自動車整備士2級ガソリン。
家族構成・・・妻と長男（妻：日本スポーツ協会公認水泳コーチ）。

発行責任者：岡田 幸次郎 <ご意見お待ちしております>

住所：二宮町一色790-11 電話：0463-72-5736 Email:okatin@mjl.scn-net.ne.jp

【主な地域活動歴】

二宮町子ども会育成会連絡協議会副会長
二宮町青少年指導員連絡協議会会長
湘南地域青少年指導員連絡協議会会長
神奈川県青少年指導員連絡協議会理事
二宮町安心安全まちづくり推進協議会委員
二宮町環境審議会委員/一色地区会副地区長



Email

